

平成27年度決算報告 町の家計簿をお知らせします

平成27年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、歳入・歳出ともに前年度を下回る規模となり、決算収支については黒字決算となりました。

平成27年度は、前年度から引き続き道の駅整備事業を実施し、昨年4月に道の駅「発酵の里こうざき」が完成・オープンしました。今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

一般会計

歳入総額は、31億4817万円（前年度比16.1%減）、歳出総額は、28億8820万円（前年度比14.8%減）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、2億5071万5千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、1億4284万2千円を積み立てましたので、年度末の残高は11億6558万8千円（前年度比14.0%増）となりました。

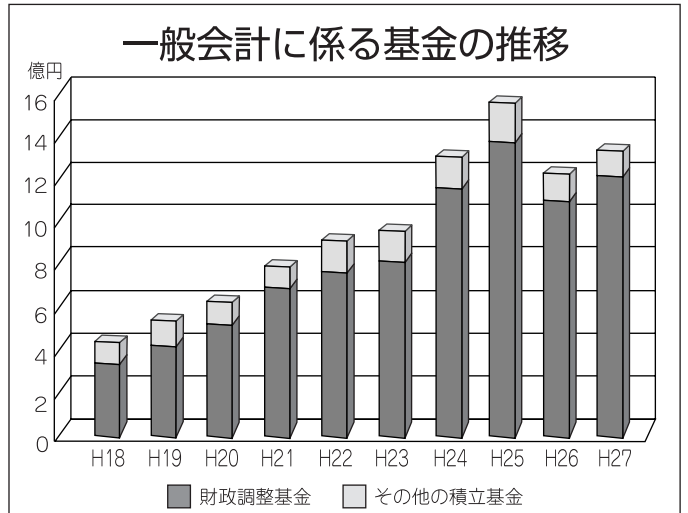
歳入

歳入の21.3%を占める町税収入は、固定資産税が減少したことにより、前年度に比べ140万7千円（0.2%）減となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は10億7699万6千円で、前年度に比べ6725万6千円（5.9%）減となりました。地方交付税と町税で歳入全体の55.5%を占めています。

歳出

国県支出金（国や県からの補助金など）は、道の駅整備事業の国庫補助の減少により、前年度に比べ9017万3千円（18.5%）の減、財政調整基金を取り崩さなかったことにより、繰入金金が4億9701万9千円（93.7%）の減となりました。



平成27年度に実施した主な事業

- 道の駅「発酵の里こうざき」整備事業 (26年度からの繰越分) 2億1036万円
- 小学校体育館耐震対策事業 6661万円
- デジタル防災行政無線改修事業 3456万円
- 神崎中学校校舎外壁等改修事業 3192万円



道の駅「発酵の里こうざき」整備事業